



保険者国保事業紹介 — 医療費適正化に向けた取り組み —

長岡京市



長岡京市の概要 ～利便性と自然が調和するまち～

長岡京市は、京都盆地の南西に位置し、北は向日市・京都市、東は京都市、南は大山崎町、西は西山を境に大阪府と接しています。東西約 6.5 km、南北約 4.3 km と東西に長い長方形をなしており、総面積 19.17 km² に約 8 万人が暮らしています。

総面積の約 40% を占める西山は、本市の代表的な景観となっています。中央部はアゼリア通りを中心とする商業地、西部・北部は住宅や農業に広く利用されています。東部には工場が立ち並び、高付加価値の先端産業が集積しています。

交通は、JR 東海道本線と阪急京都線が、東海道本線の東側には名神高速道路・国道 171 号が縦走しており、南西部を通る京都縦貫自動車道の長岡京 IC には、高速バス停が設置され、交通の便に恵まれています。

かつて「弟国宮（おとくにのみや）」「長岡京」と二度にわたって都が置かれ、王城の地として栄えた本市は、京都・大阪の二大都市を結ぶ中間に位置する地の利にも恵まれ、豊かな自然や歴史資源、先端産業が共存するまちとして発展を続けています。

◇被保険者の加入状況

年度	人口	加入世帯	被保険者数	(再掲) 未就学児	(再掲) 前期高齢者
H24	79,433	11,153	18,518	499	7,533
H25	80,035	11,049	18,148	471	7,972
H26	80,338	10,950	17,848	443	8,228

◇一人当たり医療費の状況（療養費を含む）

	総額	一般	退職
H24	361,205	360,671	366,855
H25	368,921	368,147	378,521
H26	377,816	379,874	345,996

※医療費を各年間平均被保険者数で除したもの

◎長岡京市国保の概要

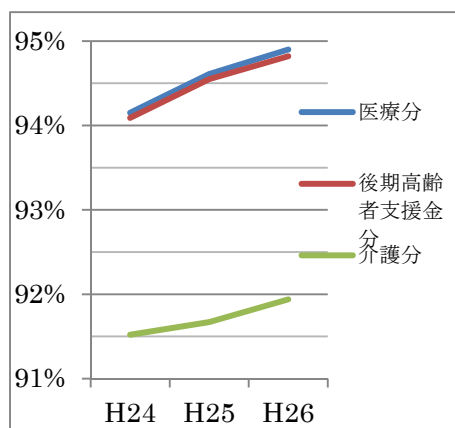
平成 26 年度末の被保険者数は 17,848 人で、人口 80,338 人のうち 22・22% を占めています。また、市全体の高齢化率は 25・09% ですが、国保加入者の高齢化率は 46・10% と非常に高くなっています。

また、医療費は、高齢化の進展や医療の高度化等を要因として、毎年増加し続けており、事業運営もより一層、厳しさを増しているのが現状です。

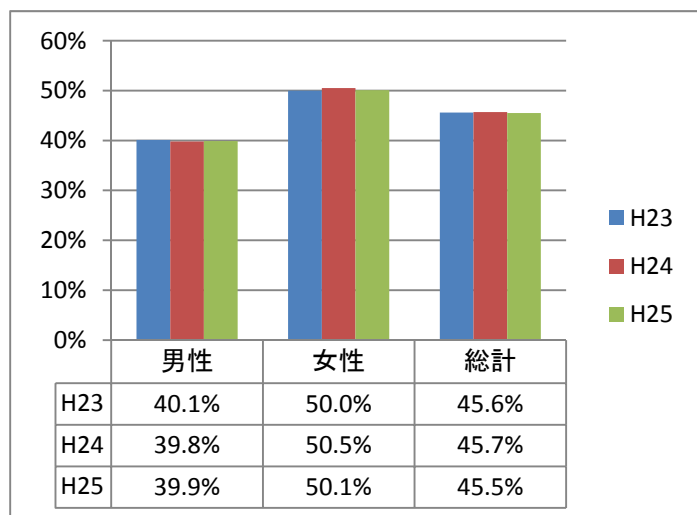
◎収納率向上対策の推進

平成22年度に策定された第3次長岡京市行財政改革大綱（アクションプラン）のなかで、引き続き国民健康保険料収納率向上事業を組み入れ、保険料の収納率向上を本市の重点課題として位置付けています。平成27年度における現年度分収納率の目標を93・40%（アクションプランを策定した平成22年度の収納率：92・20%）と設定し、適正賦課、収納・滞納者対策の強化に取り組んでいます。具体的な収納対策として、口座振替納付の奨励（振替率：平成26年度60・84%）、コンビニ収納の導入、年間を通じた定期的な「夜間納付相談窓口」開設、夜間催告の強化などを実施しています。また、収納強化月間（11月～3月）を設定し、電話催告、納付指導を強化するとともに収納の確保に努めています。

専任の徴収技術指導員1名を配置し、悪質な滞納に対しては、預金・生命保険の調査及び差押えを行い、収納率の向上と徴収体制の整備を図っています。



◆国民健康保険料（現年分）収納率



◆特定健康診査受診率（法定報告結果）



長岡天満宮 八条が池

◎特定健診等の受診率向上の推進

特定健康診査については、生活習慣病予防だけでなく、より広い範囲の疾病予防・発見に対応するため、国基準以外の検査項目を健診内容に追加し実施するとともに、人間ドックと脳ドックの健診について、市広報やホームページ、窓口で費用助成制度の積極的な周知に努め、疾病の早期発見、早期治療を促し、健康意識の高揚を図っています。

特定健康診査の実施にあたっては、地区医師会、保健衛生担当課と綿密に連携しながら事業運営に努め、特定健診の未受診者に対しては、近隣の市町（向日市・大山崎町）と合同で受診勧奨を実施し、市内スーパーや各自治会にもポスター掲示のご協力をいただくなど受診啓発に努めた結果、特定健診の平成26年度の受診率は45・9%となっています。

また、国保被保険者の疾病予防や健康の保持増進を図るため、55歳以上の男性の国保加入者に対し、前立腺がん検診に要する費用を国民健康保険の特別会計から負担しています。

そのほか、市では、生活習慣病の予防・改善のための市民向け公開講座やイベントなどを開催し、食や健康の正しい情報の提供に努めています。

◆がん検診の受診率向上に向けて

検診を定期的に受けて、ご自身の健康を大切にしたい。本市の保健師が、「恋するフォーチュンクッキー」のダンスにのせて、子宮頸がん

乳がんの特徴や検診の重要性について紹介する、検診受診啓発のメッセージ動画を配信しています。

平成27年4月19日には、ゼスト御池地下街で行われた子宮頸がん啓発キャンペーン「LOVE 49」に出演し、「美は体の健康から。まずは一度、検診を受けてみませんか。」と呼びかけを行いました。

動画は、市のホームページからもご覧いただけます。



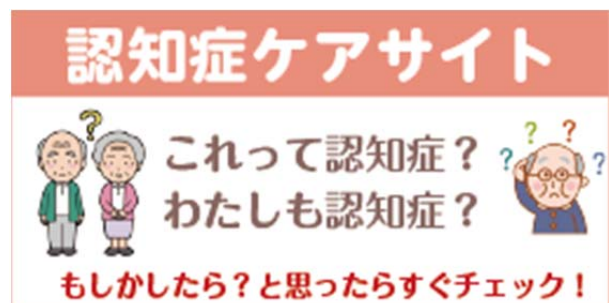
◎住み続けたいまちの実現に向けて

◆認知症早期発見の取り組み

住み慣れたまちで、いつまでも安心して暮らしたい。そんな願いは誰もが持っているのではないだろうか。本市では、簡単な質問に答えるだけで、身近な方々の認知症のリスクを確認できる認知症簡易チェックシステム「これって認知症?」「わたしも認知症?」のサービスを、市のホームページで提供しています。

一般に、認知症の初期段階では、本人も家族も認知症との認識がなく、医療機関への受診や支援機関への相談につながらないケースが多く見受けられます。認知症は、初期段階での早期発見・早期対応が重要であると言われており、初期段階でかかりつけ医や支援機関が適切な診断・支援を行い、その方に必要な受診や介護サービスの利用につながるシステムをつくり上げていくことが必要です。

ゲーム感覚でおこなえて、エンターテインメント性も高いことから、認知症に対する関心を高め、理解を深めることができるだけでなく、医療機関等への早期受診につながることで期待されています。質問は20問程度で、本人用と家族用の2種類があり、市のトップページの右下バナーから利用できます。



長岡京市ホームページ設置バナー

